

No.	016	—	2016	事務事業名	住宅・建築物安全ストック形成事業				公的関与	1			
PLAN	課名	都市整備課	係名	建築住宅係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	2 安心して暮らせる市街地の整備				
	事業の目的	住宅・建築物及びその周辺の安全確保を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すため。				根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱、住宅建築物安全ストック形成事業対象要綱						
	事業の手段	住宅・建築物安全ストック形成事業の各種補助制度を推進し、住宅・建築物の安全性及び防災性の向上を図ります。				掲載計画	東温市耐震改修促進計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		耐震診断実施戸数		耐震診断技術者派遣及び耐震診断補助戸数		戸	目標 65 実績 13	65 14	15	145			
		耐震改修補助戸数		耐震改修補助戸数		戸	目標 20 実績 12	20 4	10	50			
		ブロック塀改修補助件数		ブロック塀改修補助件数		件	目標 20 実績 5	20 11	10	50			
DO	活動内容	①	市民等に対して広く事業の周知を行った。(市広報、HP、ポスター、チラシ配布等)			④							
		②	木造住宅の耐震化についての戸別訪問を実施した。			⑤							
		③	補助金に関する受付事務等を行った。										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	都市計画総務			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	9,814千円	4,940千円	10,441千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	3,971千円	1,679千円	3,483千円								
	計(A)	13,785千円	6,619千円	13,924千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.876人	5,467千円	0.843人	5,265千円	0.843人	5,230千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		19,252千円	11,884千円	19,154千円									
一次評価者	建築住宅係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市HPや広報誌のほか、戸別訪問などを実施して事業の周知に努めているが、より広く多くの市民に周知するためには、現在の方法を改善し効果のある周知方法を考えていく必要があります。												
有効性	木造住宅の耐震化及びブロック塀の安全性を向上させることにより、将来予測されている大地震が発生した場合に迅速な災害対応を行うことが可能となります。死傷者を減らすことに繋がるため、事業を継続することにより市全体の防災対策の向上が期待できます。												
達成度	費用負担の問題や大地震からの時間経過に伴い災害に備える住民意識が薄れつつあり、目標とする成果に達していません。												
効率性	他市町の施策や制度などの情報を共有することで、事業内容の改善等を図ることができるほか、今のところ人員等も確保できており、コスト的にも多大な費用負担を必要としないため、妥当であると思われます。												
当面の課題	木造住宅耐震化事業及びブロック塀等安全対策事業についての認知度の向上を図る必要があります。												
改革計画	耐震化に対する住民意識の向上を促すため、現行の取り組みに加えて、出前講座など、新たな取り組みを加えることによって、これまで以上に事業を広く周知し、更なる安全性と耐震化率の向上に努めます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	今後更に愛媛県との連携を強化し、住民意識の向上と助成制度の認知度を上げるよう取組んでください。												

No.	016	—	2030	事務事業名	空き家再生等推進事業						公的関与	9	
PLAN	課名	都市整備課		係名	建築住宅係		電話番号	089-964-4412		メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	2 良好な住環境づくりの推進		主要施策	1 良好な住環境の形成				
	事業の目的	空家等をもたらす諸問題に対し、空家対策を総合的・計画的に推進し、地域住民の生活環境の保全を図るため。					根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法					
	事業の手段	空家等に関する問題の啓発や老朽危険空家の除却事業を実施します。					掲載計画	東温市空家等対策計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標		
				指標設定になじまない			目標						
							実績						
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	空家等の適正管理のため、HPによる周知及び補助制度の掲載を行った			④	空家等に関する問題(草木等の管理、崩壊部分の撤去等)の指導を行った						
		②	老朽危険空家の除却促進のため、除却する者に対しその費用の一部を助成した			⑤							
		③	老朽危険空家に関する補助制度を広報に掲載した										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木		費				
直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
	国・県支出金		3,000 千円	2,662 千円	3,000 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
	一般財源		1,199 千円	897 千円	1,547 千円								
計(A)		4,199 千円	3,559 千円	4,547 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.997 人	6,222 千円	0.313 人	1,955 千円	0.313 人	1,942 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		10,421 千円		5,514 千円		6,489 千円							
一次評価者	建築住宅係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	近年空き家は増加しており、今後も人口減少や少子・高齢化などにより、除却補助や適正管理指導などに対する住民ニーズは増加するものと思われます。												
有効性	空き家の問題には、蜂などの衛生危険害虫の対応や空き家バンク制度を用いた利活用など多岐に渡る業務と連携する必要があるため、他の部署で起こる問題と併せた解決が期待できます。												
達成度	住民の空き家問題に対する意識が低く、空き家の放置等が問題となっているため、空き家の適正管理指導や情報発信などを継続することで、住環境整備に繋がる成果があがっていくと予想されます。												
効率性	空き家所有者の管理責任を考えながら、法に抵触しないよう指導する必要があるため、他の実施主体の事例を参考に効率的な指導方法や他制度の紹介などを行うことが必要です。												
当面の課題	住民への情報発信を行ってきましたが、住民の空家等問題の意識向上に繋がっていないため、今後も情報発信を行い、他の実施主体のノウハウや他制度を活用しながら、住民への理解を深める必要があります。												
改訂	随時、情報発信を行い住民の理解を深めつつ、他の実施主体のノウハウや他制度を活用した空家等の適正管理指導を行います。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	空家等の所有者に対して適切な情報提供や助言・援助を行い、住民意識の醸成、啓発、適正管理の促進に努めてください。												